

水痘に注意しましょう

唐津管内で水痘(すいとう)いわゆる「みずぼうそう」の発生が急増しています。感染力が強く、重症化する場合もあるため、発疹がみられたら、早めに医療機関(皮膚科や小児科等)を受診してください。

特に、水痘の予防接種を受けていない乳幼児、成人、妊婦、免疫不全患者は重症化するリスクがあります。小さいお子さんがいる家庭は特に注意が必要です。

水痘(すいとう)とは?

水痘とは、水痘・帯状疱疹ウイルスによる感染症。

【潜伏期間】 2週間程度(10日~21日)と長い。

【特徴的な症状】 主な症状は発しんと発熱です。

発しんは、顔や体、頭、口の中にも出ることがあります。

数日にわたり新しい発しんが次々と出現するので、

丘疹、水疱、膿疱、痂皮(かさぶた)のそれぞれの段階の発しんがみられるのが特徴です。



予防のポイント

- ・感染経路は空気感染、飛沫感染、接触感染で、感染しやすい期間は、発しん出現1~2日前からかさぶたができるまでです。
- ・最も有効な予防法はワクチン接種です。定期接種の対象(1歳~3歳未満、2回接種)の方は、確実な接種をお願いします。
- ・こまめな換気、手洗い、外出時のマスク着用、咳エチケットなど基本的な感染対策をしましょう。特に、発しんをかきむしった手はこまめに洗いましょう。

水痘が疑われる場合は

登園・登校は控え、早めに医療機関を受診しましょう。

ワクチン未接種の乳幼児には接触しないようにしましょう。



体幹部の水疱、膿疱



痂皮化した発しん

背中など、全身を
よく観察しましょう



佐賀県唐津保健福祉事務所
健康推進課 健康推進担当